

広報

川越

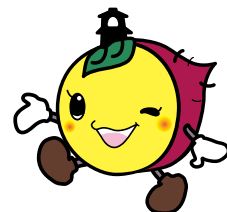
No.1360

平成28年2月10日

(毎月10日・25日発行)



川越市シンボルマーク



川越市マスコットキャラクター
「ときも」



成人のつどい(関連記事は7ページ)

新町名「藤倉1丁目」「藤倉2丁目」が誕生します：2

2月20日(土)、本川越駅西口が誕生！：3

震災から、もうすぐ5年：4

 笑顔あふれる二十歳の門出：7

●「上下水道局だより」が折り込まれています。

*川越市ホームページ(<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>)でも、広報川越をご覧になれます。

確定申告はお早めに

川越税務署 ☎2350-9411

平成27年分の所得税等の申告を受け付けます。詳しくは、1月25日発行の広報川越・3ページを確認するか、お尋ねください。所得税の申告をする方は、市・県民税の申告は不要です。申告書の提出のみの方は、川越税務署へ郵送してください。

＊郵送の場合で申告書(控)に税務署受付印が必要な方は、受付印を希望する旨の添え書きと切手を貼付した返信用封筒を同封してください。

確定申告会場

川越税務署(〒350-8666並木452-2)

受付日時：2月16日(火)～3月15日(火)
(土・日曜日を除く)、午前8時30分～午後5時

＊2月21日(日)・28日(日)は受け付けません。

＊国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」で申告書を作成・印刷して、書面で郵送するか、またはe-Taxで送信できます。



川合市長がパソコンで確定申告書の作成を体験

改定川越市建築物耐震改修促進計画(素案)に対する意見募集

建築指導課 ☎224-5974

Fax 225-9800

市では、「改定川越市建築物耐震改修促進計画」の策定を進めています。より良い計画とするため、同計画(素案)に対する市民の皆さんからの意見を募集します。

閲覧・募集期間：2月10日(水)～3月10日(木)(消印有効)

閲覧場所：建築指導課(本庁舎5階)・市民センター・南連絡所

対象：市内在住・在勤・在学または利害関係のある方

意見の提出方法：閲覧場所で配布する意見用紙に必要事項を明記し、〒350-8601川越市役所 建築指導課(持参・ファクス可)

＊市ホームページからも、閲覧・意見の提出ができます。

意見の取り扱い

提出された意見は、今後の計画策定の参考にします。また、意見に対する考案と、案を修正した場合は、内容を公表します。類似の意見は取りまとめ公表し、個別の回答は行いません。なお、個人情報公表しません。

新町名「藤倉1丁目」「藤倉2丁目」が誕生します

住所＝市民課 ☎224-5744 ▶土地・建物の所在地＝都市整備課 ☎224-5964

町名地番整理を実施し、次のとおり「住所」および「土地・建物の所在地」を変更します。

変更日	旧大字名	新町名	郵便番号
3月7日(月)	藤倉・大袋新田・大袋・山城および増形の各一部	藤倉1丁目	350-1166
	藤倉・大袋新田・山城および増形の各一部	藤倉2丁目	



3月5日(土)・6日(日)、自動交付機を休止します

市民課 ☎224-5744

町名地番整理の実施に伴い、3月5日(土)・6日(日)は、市役所本庁舎1階ロビー・南連絡所・高階市民センター・大東南公民館・霞ヶ関北市民センター・名細市民センターに設置してある自動交付機は利用できません。

●「町名地番変更用の住民票」が必要な方

3月7日(月)以降に、本人確認書類(免許証・健康保険証など)を持参し、市民課(本庁舎1階)・市民センター・南連絡所・証明センターへ申請してください。発行手数料は無料です。

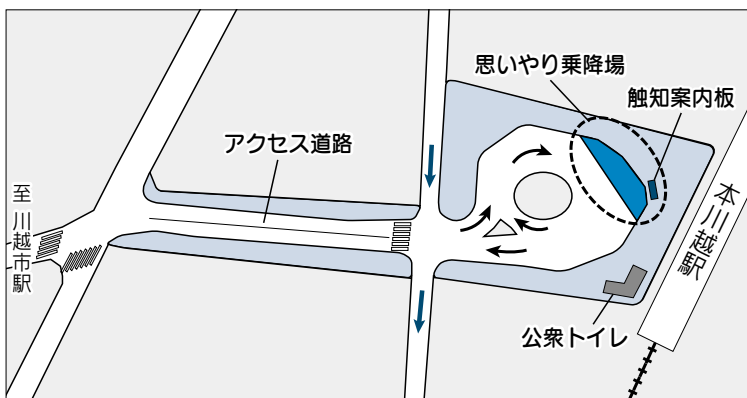
＊「町名地番変更用の住民票」は、自動交付機では発行できません。

2月20日(土)、本川越駅西口が誕生！

本川越駅と川越市駅間の乗り換え所要時間が短縮されます

都市整備課 ☎224-5964

本川越駅西口が2月20日(土)に開通します。開通を記念して、午前10時から西口駅前広場において開通式を行います。式典終了後に、西口駅前広場と広場に接続する道路も使用できるようになります。



●思いやり乗降場を設置

車椅子の方、けがをしている方、小さな子どもを連れていらっしゃる方、高齢の方、妊娠している方などのための専用乗降場です。

●バリアフリー化の推進

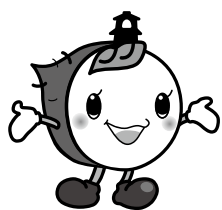
エスコートゾーン(点字ブロック付き横断歩道)や点字と文字を組み合わせた触知案内板を設置します。また、車椅子の方なども使いやすい多機能トイレを整備しています。

放置自転車禁止区域を拡大します

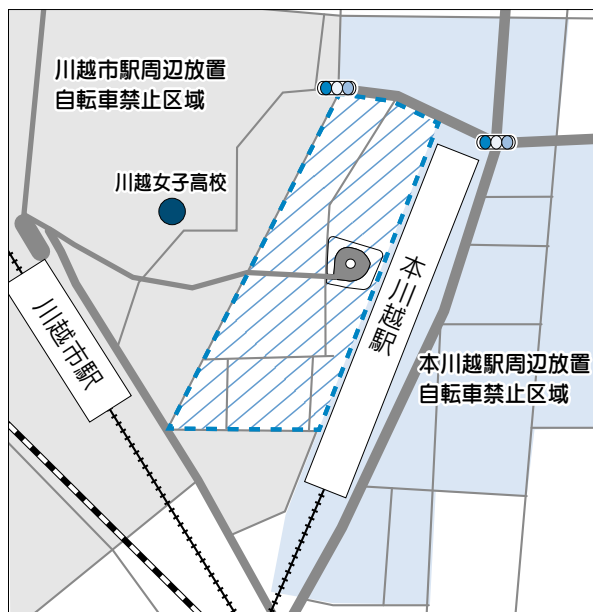
防犯・交通安全課 ☎224-5721

本川越駅西口駅前広場の供用開始に伴い、2月20日(土)から、これまでの駅東側に加えて西口周辺についても放置自転車禁止区域となります(右図)。

歩行者道路や車道に放置されている自転車には警告札を貼り、直ちに移動しない場合は即時撤去の対象になります。



みんなが利用しやすい駅周辺になるよう自転車を利用する場合は、自転車駐輪場など決められた場所に駐車するようにご協力をお願いします。



新たに禁止となる区域

～ひとくち情報～ ミニ・インフォメーション ～ひとくち情報～

●平成27年度臨時福祉給付金受け付け終了 福祉推進課 ☎224-5769

同給付金の受け付けは、1月31日に終了しました。

* 給付を装った「振り込め詐欺」や「個人情報の詐取」にご注意ください！

●「マイナンバー制度利用開始についてのお知らせ」の変更について 市民税課 ☎224-5640

12月25日発行の広報川越 No.1357・9ページ、「マイナンバー制度利用開始についてのお知らせ」に変更があります。市民税・県民税および事業所税の減免申請書については、マイナンバー(個人番号)の記載が不要となりました。

●訂正 1月25日発行の広報川越 No.1359・15ページ、ジョイフル ジョイフル ☎248-4115

パステル音楽院発表会の日程。誤=27日(土) 正=28日(日) ご迷惑をお掛けしました。

●訂正 1月25日発行の広報川越 No.1359の折り込み「ご活用ください!! 地域包括支援センター」 高齢者いきがい課 ☎224-5809

川越市地域包括支援センター分室 霞ヶ関北の電話番号。誤=049-238-6221 正=049-298-6221 ご迷惑をお掛けしました。

震災から、もうすぐ5年

多くの被害をもたらした東日本大震災から、もうすぐ5年が経過しようとしています。

川越市からは、現在も3市町に5人の職員を派遣しています。復興のまちづくりに向けて力を尽くしている職員に、ま



東松島市(宮城県) 佐藤洋芳さん

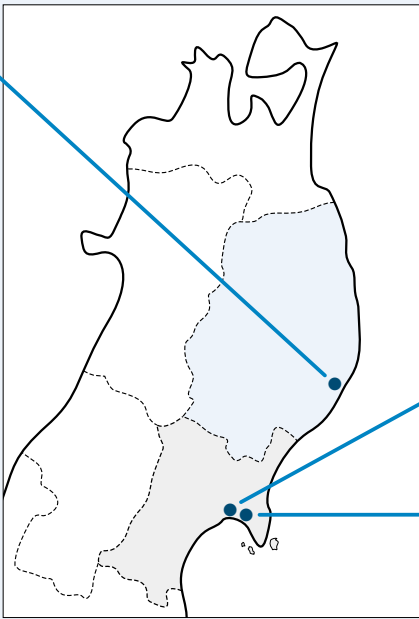
生活に困窮している方への支援業務にあたっています。被災した方の相談からは複雑な問題を抱えていることがうかがえ、すぐに問題が解決に至ることは少ないです。粘り強い支援が必要だと感じています。

被災後、新たな土地に転居する方が増えていますが、転居後に心身の不調を訴える方もいます。人にとって、住みなれた場所は大切なものなのだと痛感するとともに、人と人が支えあうことのできる仕組みをつくるのが大事だと感じました。

東松島市は、青く澄んだ空にブルーインパルスが舞う姿が見られたり、遊覧船からは大迫力の日本三大溪・嵯峨溪を目の当たりにできたりと、豊かな自然を体感できる場所です。のりの香りが広がるのりうどん、大きく育ったかきは絶品です。川越から東松島は、意外とすぐに来ることができます。足を運ぶことで感じるものが必ずあると思いますので、季節ごとに楽しめる海産物を味わいに、ぜひ一度訪れてみてください。



上：日本三大溪の1つ、嵯峨溪。太平洋の荒波と風雨が長い年月をかけて作り上げた彫刻のような岩が立ち並びます／下：ミネラルが豊富で、味も濃厚な東松島のかき



石巻市(宮城県) 前沢真知子さん

公共施設の復旧工事に係る設計・施工監理業務を担当しています。

被災地の皆さんは頑張っていますが、復興ははまだ道半ばです。震災から年月が経てば経つほど、人々の被災地の復興に対する関心・意識が低くなっているように感じます。継続的な支援が必要です。

東北に来て被災地を見て地場産品を買い、食事をし、宿泊することも大切な復興支援の一つです。石巻市を含め、東北は魚介類がとてもおいしいです。石巻市内のおすすめスポットは、春になると桜がきれいな日和山、仮面ライダーやサイボーグ009でおなじみの漫画家・石ノ森章太郎さんのマンガミュージアム石ノ森萬画館、慶長遣欧使節船「サン・ファン・パウティスタ号」を復元、係留・展示し、乗船見学ができる宮城県慶長使節船ミュージアムなどです。

復興へ向け、頑張っている東北へぜひ一度遊びに来てください。



石ノ森萬画館では、貴重な原画や作品を立体的に再現したモニュメント、体験アトラクション等で石ノ森ワールドを満喫できます



世界三大漁場「三陸・金華山沖」の海の幸がいただけます。中でも、この海域で漁獲された鮮度がよく脂のり抜群の大型マサバは「金華さば」と呼ばれ、ブランド魚として人気です

（株）西武ライオンズと連携協力に関する基本協定を締結

政策企画課 224-5503

市と（株）西武ライオンズは、スポーツ振興や青少年の健全育成などを目的として、1月22日に連携協力に関する基本協定を締結しました。今後は、子どもから高齢者までスポーツを楽しむ機会を増やし、地域の一層の発展や住民福祉の向上を図るため、互いに連携協力をしてさまざまな事業に取り組んでいきます。



協定書を手を持つ川合市長(左)と居郷社長(右)

バナー広告募集

広報室
224-5495

平成28年度分の、市ホームページに掲載するバナー広告を募集します。月間アクセス数は、約11万件(平成26年度平均)。市民だけではなく、観光客への広告効果も期待できます。掲載の決定は、広告内容を審査して行います。応募方法など詳しくは、市ホームページをご確認ください。

募集期限…3月4日(金)(必着)まで

* 応募期間終了後も、空きがある場合は随時受け付けます。

掲載期間…4月～平成29年3月(1か月単位)

広告料…月30,000円(長期掲載は割引有り)

納期限は、 2月29日(月)	固定資産税(第4期) 国民健康保険税(第8期)	後期高齢者医療保険料(第8期) 医療助成課	介護保険料(第8期) 介護保険課
	224-5686	224-5842	224-5817

市税などの納期のお知らせ

大槌町(岩手県) 栗原さち代さん(右写真)、小島栄二さん(左写真中央)、武石昌也さん(左写真手前)

津波で甚大な被害を受けた大槌町には、3人の職員が派遣されています。栗原さんは主に災害公営住宅の計画に関することを担当し、小島さんと武石さんは、津波被害を受けた住宅の高台移転や市街地形成支援の事業等を担当しています。



「一部では家屋の建築も始まり、目に見える形で復興を感じとることができますが、周囲を見渡すと被災した地域の多くがまだまだ盛り土工事中で、広大な土地を大型ダンプが毎日行きかっています」と、大槌町の今について話す栗原さん。小島さんと武石さんは、「まだ多くの方が仮設住宅で暮らしながら早期の再建を望んでいます」と心を痛めます。



海と山に囲まれた大槌町。まちの魅力について、「旬な食べ物を鮮度抜群でいただけることに感動する」と口をそろえる皆さん。「被災地の状況や、まちの魅力を知っていただけたらうれしいです。実は、派遣職員のOBが、川越で大槌産のワカメなどを月1回ボランティアで販売しているんですよ。一度足を運んでいただき、大槌町をはじめとした被災地の現状を知るきっかけにいただければ」「復興はまだまだこれから。ぜひ現地にも来て、見て感じてほしいです」と、力をこめて話していました。

海と山に囲まれた大槌町。まちの魅力について、「旬な食べ物を鮮度抜群でいただけることに感動する」と口をそろえる皆さん。「被災地の状況や、まちの魅力を知っていただけたらうれしいです。実は、派遣職員のOBが、川越で大槌産のワカメなどを月1回ボランティアで販売しているんですよ。一度足を運んでいただき、大槌町をはじめとした被災地の現状を知るきっかけにいただければ」「復興はまだまだこれから。ぜひ現地にも来て、見て感じてほしいです」と、力をこめて話していました。



左：井上ひさしさんの「ひょっこりひょうたん島」のモデルといわれる蓬萊島。灯台は震災後再建したもので、小学生のスケッチを基に設計されました/右：養殖業が盛んな大槌町の代表的な海産物、ワカメ。2月13日(土)、3月12日(土)、午前9時30分から元町休憩所で販売予定です

派遣された職員が口をそろえるのは、「復興はまだ道半ば」「震災や被災地のことを風化させずに長い目で見た支援を」ということ。そして、「ぜひ来てほしい」ということです。

「被災地で観光なんて気が引けて」という方もいるかもしれませんが。しかし、これからはお互い前向きな気持ちになれる支援が必要なのではないでしょうか。訪れて現状を知り、地元の皆さんと交流して、おいしいものを食べ、特産品をお土産にし、帰宅後に周りの人へ伝えていく…。私たちにもできる、被災地を元気にする支援、考えてみませんか。

ウェスタ川越の講座

男女共同参画課 ☎224-5723

文化芸術振興課 ☎224-6157

講座の内容、申し込み等に関する問い合わせは、
ウェスタ川越 ☎249-3777

それぞれの講座の申込み開始は3月上旬の予定です。
講座の内容・定員等は変更になる可能性があります。

	講座名	日程	回数	受講料	定員
	色鉛筆画	5月11日(水)～8月17日(水)	全8回	4,500円	18人
	自力整体	5月16日(月)～9月5日(月)	全9回	4,500円	20人
	ブログ& Facebook 発信術	4月13日(水)～6月1日(水)	全6回	各500円	各20人
	ヨガ	5月6日(金)～7月8日(金)	全10回	6,800円	20人
*	太極拳(初心者)	5月22日(日)～7月10日(日)	全8回	4,500円	15人
*	太極拳(中級者)	5月26日(水)～7月14日(水)	全8回	4,500円	15人
*	ジャズダンス	4月4日(月)～6月13日(月)	全10回	8,000円	18人
	複式簿記集中講座	5月13日(金)～6月10日(金)	全5回	500円	20人
*	地域創生と女性の活動	6月7日(火)～7月5日(火)	全2回	—	30人
*	カラーと表情のちからで魅力UP!	4月14日(水)～4月28日(水)	全3回	500円	20人
*	ビューティストスタイル～洋装の所作とウォーキング ダーツ(昼間コース、夜間コース)	4月10日(日)～5月15日(日)	全5回	3,000円	18人
		6月2日(水)～7月7日(水)	各6回	各3,000円	各15人
*	医療事務資格取得講座	6月21日(火)～11月8日(火)	全20回	38,000円	30人
*	宅建士資格取得講座	5月11日(水)～10月12日(水)	全23回	38,000円	30人
	ワークショップ(第1弾)	4月2日(土)	全1回	500円	15人
	ワークショップ(第2弾)	6月4日(土)	全1回	500円	15人
	パソコン講座・夜間(ワード編)	5月13日(金)～6月17日(金)	全6回	5,000円	18人
	パソコン講座・夜間(エクセル編)	7月1日(金)～8月5日(金)	全6回	5,000円	18人
*	世界で生きる女性たち(第1弾)	4月29日(祝)	全1回	—	50人
*	世界で生きる女性たち(第2弾)	7月18日(祝)	全1回	—	50人
	語学講座(中国語)	5月18日(水)～8月3日(水)	全12回	6,500円	20人
*	女性のためのリーダー力養成講座	6月15日(水)～8月10日(水)	全3回	—	30人
*	川越文化コンシェルジュ学習講座(第1弾)	5月15日(日)	全1回	500円	60人
*	川越文化コンシェルジュ学習講座(第2弾)	5月29日(日)	全1回	500円	60人

*は、男女共同参画関連の講座。その他は、市民活動・生涯学習関連(文化芸術振興課)の講座。

環境にやさしい行動を目指して 11 環境基本計画と緑の基本計画

環境政策課 ☎224-5866

環境問題は、ごみの減量やリサイクルなどの身近なことから、地球温暖化など地球規模のことまでその内容は、さまざまです。皆さんはこのような問題にどのくらい関心を持っていますか？

昨年度、市で行った「川越市の環境に関するアンケート調査」の結果によれば、環境問題に「関心がある」または「まあ関心がある」と回答した人は全体の約84%でした。また、川越市は緑に「恵まれている」と回答した人は全体の約69%でした。このような環境に関する取り組みや、緑に関する取り組みを、総合的かつ計画的に進めていくために市で策定しているのが、環境基本計画と緑の基本計画です。4月から始まる新たな計画として、「(仮称)第三次川越市環境基本計画及び(仮称)川越市緑の基本計画(平成28年3月改定版)」の策定に取り組んでいます。

これまで、有識者などによる川越市環境審議会での審議や、パブリック・コメントの実施など、できる限り多くの皆さんの意見を伺いながら、計画の策定に取り組んできました。同審議会で審議した結果について、昨年12月24日に答申書が提出されました。

今後、策定を予定している「川越市環境行動計画」では、日ごろの生活を振り返り、環境に配慮した行動ができていくかを確認できるチェックシート(の作成も予定しています。この機会に、みなさんも身のまわりの環境や緑について考えてみましょう。

笑顔あふれる二十歳の門出

1月10日、新成人の新たな門出を祝うかのような青空の下、ウェスタ川越で、初の成人のつどい(成人式)が行われました。今年の新成人は3,565人。

交流広場では「ひさしぶり」「懐かしいね」と、同級生との再会に喜ぶ新成人の声が飛び交っていました。

また、大ホールで行われた式典では、岡野紗也香さん(砂新田1丁目)と染谷拳斗さん(旭町3丁目)が「誓いの言葉」を述べ、決意を新たにしました。



中学時代はバレーボール部!



投票体験



ふおとニュース



小さいのちをたいせつに!

川越ロータリークラブが飼育小屋に掲示する標語板を作製。川越市立の全小学校(32校)に寄贈され、川越第一小学校で寄贈式が行われました。

同クラブ奉仕部門委員長・宇津木清さんから「小さな命を大切にすることを通じて、慈しみや思いやりの心を育ててほしい」と渡された標語板。代表児童の糸井遙海くん(上写真中央)と布施川葉月さん(上写真右)は標語板を受け取ると、「これからも命を大切にしたい」と力強く答えていました。



平成27年12月11日(金) 川越市立川越第一小学校



力を合わせて鬼退治



1月22日、今成保育園つどいの広場で、鬼のお面を作る催しが行われました。参加した子どもたちは、親と協力しながら、お面と新聞紙の豆を作っていきます。

お面が完成すると、一足早い豆まきを始めた子どもたち。「鬼は〜そと!福は〜うち」と大きな声で豆まきをしていると、突然大きな鬼が登場。

怖がって逃げ回っていた子どもたちも、最後は勇気を出して「せ〜の、鬼は〜そと!」と、見事に退治。鬼を退治した子どもたちは、にっこり笑顔の「福は〜うち」。



鬼をやっつける〜

「むかしの勉強・むかしの遊び」展

同展は、昭和30〜40年代を中心に、学校の教室や家庭の居間、駄菓子屋の店先などを再現しています。この時代は、いわゆる高度経済成長期と呼ばれ、人々の暮らしや町の様子が大きく変わりました。

今回は、当時最新だった電化製品なども展示しています。この頃「三種の神器」と呼ばれ、急速に普及した白黒テレビ・洗濯機・冷蔵庫。それまで使われていた木製の氷冷蔵庫も並びます。60代のご夫婦は、「氷冷蔵庫に入れる氷、氷屋さんが配達してくれてたね」「大きなこぎりで切ってくれてね」と懐かしそうに話していました。白黒テレビの前では、「これ、どうやってチャンネル変えるか知ってる?」とお父さんが息子に話しかけます。あちこちで、「こういうの、あったね」「昔はこんなだったの」と会話が弾みます。2月28日(日)まで。開催中の同展に、皆さんも出掛けてみてはいかがですか。



リビングに優雅な音を届けた、VictorのHi-Fi Stereo Audiola



子どもたちが熱中したペーゴマ



電気冷蔵庫(左)と氷冷蔵庫(右)

古谷種子生産組合



農政課 224-5939

古谷種子生産組合は、翌年に「種子」として利用するお米を栽培している組合です。「入間地域内でも、お米の種子を作っているのはここだけだと思いますよ」と胸を張るのは、組合長の秦勉さん(大中居)。

昨年栽培したのは、埼玉県生まれの品種「彩のみのり」。組合では2.5haの田んぼで9,500kgの種子を生産しました。これは300ha以上に作付けできる量ですが、入間地域内だけですべて使われてしまうほど需要が多いそうです。

種子の生産で一番大変なのは、収穫してから出荷まで時間がかかること。9月に刈り取ったものは、乾燥した後、選別作業などを行い、最後に種子としての検査を受けるのは12月半ばになります。「米農家にとっては出荷が終わるまでが秋。私たちには秋が4か月あるんだよ」と秦さんは笑います。種子生産農家が、日本の主食・お米を影から支えています。



一袋ずつ状態を検査して、合格したものが出荷されます

この時期に市内の直売所などで購入できる主な川越産野菜

- ハウレンソウ、コマツナ、ブロッコリー、ニンジン、トマト、イチゴ、サトイモ、サニーレタス、ネギ、ハクサイ

が、夏休みから11月までかけて描きあげた申年の絵馬。個性あふれる猿たちは大ききもタッチもさまざまですが、みんな優しい顔をしています。絵馬の明るい色彩が、一瞬寒さを忘れさせてくれました。



人々を楽しませていきます。川越第一中学校と山村学園高校の美術部の生徒たちが



若者たちの笑顔があふれた成人のつどい。会場前に設置された絵馬には新成人の夢や初々しい決意がたくさん書きこまれました。

毎年、近隣の学校の生徒たちが描いた大きな絵馬が飾られるのは、川越八幡宮。縦4・5m、横5・4mの「ジャンボ絵馬」が道行く

編集後記

どんぐり